

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 3 日

評価対象事業		評価者	みどり公園課長 秋山 崇	
都景-09	緑政運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	みどり公園課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針	緑の保全等

1 事業の目的

対象	市民等
意図	緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。
効果	緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会の開催等を行った。 ・鎌倉市緑の基本計画の改定を行った。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	緑政審議会運営等事務	緑化推進専門委員報酬、緑政審議会委員報酬	-	- / -	-	-	
				582 / 714	714	714	
02	緑の基本計画改定事業		-	- / -	-	-	
				3,971 / 0	0	0	
03	緑地維持管理相談専門委員設置事業	緑地維持管理相談専門委員報酬、費用弁償	緑地維持管理相談専門委員派遣件数(件)	7 / 12	12	12	58.3%
				108 / 114	114	114	
04	一般事務経費	鎌倉市緑の基本計画印刷製本	-	- / -	-	-	
				545 / 849	299	299	
05	森林環境譲与税基金新規積立	-	-	- / -	-	-	
				0 / 0	0	0	
06	緑政業務支援GIS導入	緑政業務支援GIS導入委託	-	- / -	-	-	
				0 / 0	0	0	
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	0 / 0	0	0	
			地方債	0 / 0	0	0	
			その他特定財源	0 / 10	10	10	
			一般財源	5,206 / 1,667	1,117	1,117	
			事業費の合計(千円)	5,206 / 1,677	1,127	1,127	
		人件費(千円)		20,485	13,066		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.3	2.7	1.7			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	緑政審議会運営等事務	緑政審議会は、緑の保全及び創造についての基本的事項又は重要事項を調査審議する市長の附属機関であり、審議内容は社会情勢等により変化するため、目標値を設定し進めるものではないことから指標は設定しない。	緑の基本計画に位置付ける施策の進行管理、緑の基本計画の見直しなど重要な事項について、専門的な見地から意見聴取を行っており、施策の方針に沿った取り組みとなっている。	本市の緑行政について調査審議を行うにあたっては、緑に関する専門性と本市の特性についての理解が求められることから、2年に1度の審議会委員改選において適切な人材を確保することが課題である。
02	緑の基本計画改定事業	緑の基本計画の見直しは、令和3年度に終了したため、指標は設定しない。	緑の基本計画の見直しは平成23年の改訂から10年目を迎え、社会情勢等の変化に対応した計画とするために必要な作業であり、施策の方針に沿った取り組みとなっている。	緑の基本計画に位置付けている特別緑地保全地区の指定候補地について、計画に基づいて順次指定を進めていく必要がある。
03	緑地維持管理相談専門委員設置事業	令和2年度から開始した事業であるが、緑地の維持管理手法に関する相談へのニーズは変わらずあるため、前年度と比較して令和3年度の相談数は増加した。 民有緑地維持管理助成事業を新たに創設したことから、緑地の所有者が活用できる支援策の選択肢が増えた。このため、相談件数は目標値に満たなかったと考えている。	目標とするまちの姿を、市街地の緑について市民の自発的な活動が行われているとしており、これに沿った取り組みとなっている。	緑地維持管理相談専門委員による相談事業について認知度が低いと考えられるため、派遣の件数を増やすべく周知を図っていく必要がある。
04	一般事務経費	書籍や文具などの消耗品の購入費用等であるため、指標設定が不可能である。	緑地を保全するとして施策の方針に沿った取り組みとなっている。	-
05	森林環境譲与税基金新規積立	森林環境譲与税基金は、当該譲与税の計画的な活用のため創設したものであり、基本的には事業の執行差金や利子の管理を行うためのものである。 令和2年度に新規積立を行い、令和3年度から令和5年度までの事業に分割して取崩すこととしているが、原則として令和3年度以降の譲与税については新規積立を行わないことから、指標は設定しない。	緑地を保全するとして施策の方針に沿った取り組みとなっている。	-
06	緑政業務支援GIS導入	緑政業務支援GISは、令和2年度に導入し、令和3年度以降はシステム運用をするため、指標の設定はしない。	緑地を保全するとして施策の方針に沿った取り組みとなっている。	令和3年度は1アカウントで運用し、令和4年度に2アカウント増設した。システムの利便性や他業務への利活用の可能性があることから、さらなる増設や庁内GISシステム統合の可能性について検討する。
07	特別緑地保全地区の指定	令和3年度は緑の基本計画を改定し、特別緑地保全地区の指定候補地について見直しを行った。このため、具体の指定候補地における事務手続等については令和4年度から開始することとした。	緑地を保全するとして施策の方針に沿った取り組みとなっている。	-
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
・緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対する方向づけを行うため、緑政審議会を開催する必要がある。 ・緑の基本計画で保全対象としている緑地の保全、緑地の維持管理の推進に努める必要がある。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	緑地維持管理相談専門委員派遣件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
専門委員による相談を実施することにより、民有緑地の維持管理を促し、緑地の質の向上に繋がると考えられるため、派遣の件数とした。	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	
	実績値	5.0	7.0					
	達成率	41.7%	58.3%					

指標(単位)	特別緑地保全地区の指定面積						単位	ha
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
緑の基本計画に示す指定目標	目標値	49.4	49.4	49.4	49.4	49.4	53.2	
	実績値	49.4	49.4					
	達成率	100.0%	100.0%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	緑の基本計画の策定							
団体名	鎌倉市	横浜市	川崎市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	三浦市
他市実績	策定済み	策定済み	策定済み	策定済み	策定済み	策定済み	策定済み	策定済み

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	都市緑地法に基づく緑の基本計画の策定と同計画による施策展開は、どの自治体においても取組が行われている状況である。
----------------------	--